概要

この章は、次の内容で構成されています。

- Cisco UCS Director について，1 ページ
- 最初のログイン，6 ページ
- システム設定の推奨順序，6 ページ

Cisco UCS Director について

Cisco UCS Director（旧称 Cisco Cloupia Unified Infrastructure Controller）は、次の標準的なテンプレートを使用する 64 ビットのアプライアンスです。

- Open Virtualization Format（OVF）for VMware vSphere
- Virtual Hard Disk（VHD）for Microsoft Hyper-V

Cisco UCS Director は、Cisco UCS および Cisco Nexus プラットフォームに基づく業界をリードする統合インフラストラクチャ ソリューションに、セキュリティで高度に保護された統合管理機能を提供します。

Cisco UCS Director は、Cisco UCS を通じて、コンピューティング階層とネットワーク階層の統合を拡張し、データセンターの管理者に包括的な可視性と管理機能を提供します。 この製品は、Cisco UCS および Cisco Nexus プラットフォームをベースにした、NetApp FlexPod および ExpressPod、EMC Isilon、EMC VSPEX、EMC VPLEX、および VCE Vblock システムをサポートします。

Cisco UCS Director は物理的、仮想的、ベアメタル型の環境にわたって、リソース プールのプロビジョニングを自動化します。 この製品は、正常性、ステータス、リソース使用率に関して、ネイティブな自動化されたモニタリング機能を提供します。 Cisco UCS Director を使用して次を実行できます。

- すべてのサーバおよびアプリケーションを対象に、サービス プロファイルとテンプレートを作成、複製、および導入すること

- 全データセンターを対象として、仮想マシン（VM）の使用率を示すヒート マップを表示するなど、統合インフラストラクチャで組織の使用率、傾向、容量を継続的にモニタすること
- 作業者ごとにばらつきのない方法で ExpressPod および FlexPod インフラストラクチャの導入や容量の増設を行うこと
- Cisco UCS ドメインとそのコンポーネントを対象として、管理、モニタリング、報告を行うこと
- 物理的なインフラストラクチャ サービスを含むように、仮想サービス カタログを拡張すること
- 仮想化された作業負荷と仮想化されていない作業負荷の両方に対応するために、セキュリティで保護されたマルチテナント環境を管理すること

機能と利点

Cisco UCS Director の機能と利点を以下に示します。

機能	利点
中央管理	• 管理者に物理、仮想、ベアメタル環境全体のシステムをモニタリング、プロビジョニング、管理する単一インターフェイスを提供 • 統合型ダッシュボード、レポート、ヒート マップを提供し、トラブルシューティングとパフォーマンスのボトルネックを削減
セルフサービス カタログ	• エンドユーザが IT の規定したポリシーやガバナンスに沿って、新しいインフラストラクチャ インスタンスの発注および導入が可能
適応型のプロビジョニング	• リアルタイムで利用可能な機能、内部ポリシー、アプリケーション ワークロード要件を使用して、リソースの可用性を最適化
動的な容量管理	• 継続的なモニタリングにより、リアルタイムでインフラストラクチャ使用率を示し、キャパシティ プランニングと管理を改善 • 使用率の低いリソースや使用率の高いリソースを特定
複数のハイパーバイザのサポート	• VMware ESX、ESXi、Microsoft Hyper-V、Red Hat の各ハイパーバイザをサポート

機能	利点
コンピューティングの管理	• 物理、仮想、ベアメタルの各サーバおよびブレードをモニタリング、管理、プロビジョニング • エンドユーザがスナップショットを介して仮想マシンのライフサイクル管理とビジネス継続性を実現可能 • 管理者にサーバ使用率のトレンド分析を提供
ネットワーク管理	• 物理スイッチ、仮想スイッチ、動的ネットワーク トポロジをポリシーベースでプロビジョニング • 管理者が VLAN、仮想ネットワーク インターフェイス カード（vNIC）、ポート グループ、ポート プロファイル、IPおよび動的ホスト制御プロトコル（DHCP）割り当て、アクセス コントロール リスト（ACL）を、複数のネットワーク デバイスにわたって設定可能
ストレージの管理	• ファイラ、仮想ファイラ（vFiler）、論理ユニット番号（LUN）、ボリュームをポリシーベースでプロビジョニングおよび管理可能 • 統合ダッシュボードにより、管理者が組織的な使用状況、トレンド、キャパシティ分析の詳細を包括的に可視性可能
Cisco CloudGenie	• Apple の iPad と iPhone、および Android デバイスによるモバイル管理を提供 • モバイル セルフサービス プロビジョニング、仮想マシン管理、および管理ダッシュボードの表示をサポート

物理的および仮想的な管理機能

物理サーバの管理	仮想コンピューティング管理
• 設定と変更の検出および収集 • 物理サーバのモニタリングと管理 • ポリシーベースでのサーバ プロビジョニングの実行 • ブレードの電力管理 • サーバ ライフサイクルの管理 • サーバの使用傾向と容量分析の実行 • Preboot eXecution Environment（PXE）ブート管理機能を使用したベアメタル プロビジョニングの実行	• 仮想コンピューティング環境の検出、収集、モニタリング • ポリシーベースでのプロビジョニングと動的リソース割り当ての実行 • ホストサーバの負荷と電力の管理 • VM ライフサイクルとスナップショットの管理 • VM の容量とスプロール、ホストの使用率を評価するための分析の実行
物理ストレージの管理	**仮想ストレージの管理**
• ストレージ ファイラの検出、収集、モニタリング • ポリシーベースでの vFiler プロビジョニングの実行 • ボリュームのプロビジョニングとマッピング • 論理ユニット番号（LUN）と iGroup インスタンスの作成とマッピング • SAN ゾーン管理の実行 • Network-Attached Storage（NAS）および SAN ベースのストレージのモニタリングと管理 • ストレージ実装のベスト プラクティスと推奨事項	• vFiler のストレージおよびストレージ プールの検出、収集、モニタリング • シックおよびシン クライアントを対象としたポリシーベースでのストレージ プロビジョニングの実行 • 新しいデータ ストアの作成と仮想デバイス コンテキスト（VDC）へのマッピング • VM へのディスクの追加とサイズ調整 • 組織でのストレージ使用率のモニタリングと管理 • 仮想ストレージの傾向と容量分析の実行

物理ネットワークの管理	仮想ネットワークの管理
• 物理ネットワーク要素の検出、収集、モニタリング • 複数のスイッチ間のプロビジョニング VLAN • ネットワーク デバイスに対するアクセス コントロール リスト（ACL）の設定 • ストレージ ネットワークの設定 • 動的ネットワーク トポロジの実装	• VM へのネットワークの追加 • IP および DHCP 割り当てによるポリシーベースでのプロビジョニングの実行 • VLAN およびプライベート VLAN に対する仮想ネットワーク インターフェイス カード（vNIC）の設定と接続 • VM のためのポート グループとポート プロファイルの作成 • 組織での仮想ネットワークの使用率のモニタリング

モデルベースのオーケストレーション

Cisco UCS Director は、400 以上のタスクや、すぐに使用できるワークフローなどが含まれているタスク ライブラリを備えています。 モデルベースのオーケストレーションとワークフロー デザイナを使用すると、インフラストラクチャの管理や運用タスクをカスタマイズしたり、自動化したりできます。 また、個々の必要性に対応して、システムの拡張とカスタマイズを進められます。

次の表は、タスク ライブラリの 1 日目から 3 日目のメンテナンスおよび更新アクティビティを示しています。

1 日目	2 日目	3 日目
• テナントの追加 • 申請者の移行または追加 • エンタープライズ システムとの統合 • セルフサービス ポータルの使用	• パフォーマンスのモニタリング • ミーティングおよび請求の開始 • テナントの変更の管理 • セルフサービス Infrastructure as a Service（IaaS）	• ハードウェアの追加とアップグレード • 用途変更

最初のログイン

ホスト名とIPアドレスのいずれかと次のクレデンシャルを使用して、Cisco UCS Directorにログインします。

- ユーザ名：admin
- パスワード：admin

（注） 最初の管理アカウントを作成した後、起動時の管理アカウントを削除するか、少なくともデフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。 セルフサービス ポータルにアクセスするには、有効な電子メール アドレスが必要です。

システム設定の推奨順序

次の表は、システム設定の推奨順序を示します。

項目	章	説明
初期設定	2、3、4	ライセンスの適用、管理者プロファイルの設定、グループの作成、およびユーザの作成の方法について説明します。 言語サポートへのアクセス、ポータル カスタマイズの適用、およびシステム設定の方法を習得します。
物理インフラストラクチャ		任意でのポッドと物理アカウントの追加、ネットワーク要素の追加、接続のテスト、およびアカウント検出の検証の方法について説明します。 （注） 必要に応じて、物理インストラクチャよりも前に仮想インフラストラクチャを作成できます。
仮想インフラストラクチャ	5	クラウドの作成、クラウド検出および接続の検証、接続のテスト、および vCenter プラグインの表示の方法について説明します。
ポリシー	6	コンピューティング ポリシー、ストレージ ポリシー、ネットワーク ポリシー、およびシステム ポリシーを作成して管理する方法について説明します。 Microsoft Windows カタログの OS ライセンスを追加する方法を習得します。
仮想データセンター	7	グループ、ポリシー、コストモデルの特定の環境を管理するためにVDCを設定する方法、さらに、 VDC レベルでのリソース制限の設定および管理の方法について説明します。

項目	章	説明
カタログ	8	カタログ項目の設定方法、カタログへのアクセス権限をグループに追加する方法、およびカタログ項目の公開方法について説明します。
Self-Service プロビジョニング	9	プロビジョニング サービス リクエストの作成および管理方法について説明します。
Multi-Disk プロビジョニング	10	1つまたは複数のデータストアでVMディスク プロビジョニングを設定する方法を説明します。また、テンプレートで追加ディスクごとに個別のディスク ポリシーを設定する手順についても説明します。
チャージバック	11	チャージバック サマリー レポート、詳細レポート、およびリソースアカウンティング レポートを作成する方法について説明します。コストモデルが定義され、部門や組織内のポリシーに割り当てられる仕組みも示します。
クラウド管理	12	クラウドを完全に可視化し、リソース使用率をモニタし、クラウドスタック（クラウド、クラスタ、ホスト サーバ、および仮想マシン）を管理する方法について説明します。
ライフサイクル	13	プロビジョニング後のライフサイクル管理アクション（VMの電源管理、VM のサイズ変更、VM スナップショット管理などの VM アクション）を実行する方法を説明します。
CloudSense	14	Cisco UCS Director で生成可能な、基礎となる物理インフラストラクチャと仮想インフラストラクチャに関する分析レポートについて説明します。
マクロ	15	マクロ機能を使用し、アプリケーションから提供される変数を使用してVM名とVMホスト名をカスタマイズする方法を説明します。